

【従来のワクチンより予防効果が高い帯状疱疹ワクチン・シングリックス入荷】(2023年10月11日) 2024年8月30日更新

帯状疱疹とは何ですか？

帯状疱疹は、“水痘(水ぼうそう)”と同じウイルス「水痘・帯状疱疹ウイルス」が原因で起こる病気です。多くの人が、子どものときに水ぼうそうに感染しますが、水ぼうそうが治癒した後も、この「水痘・帯状疱疹ウイルス」は症状が現れない状態で体内(神経節)に潜み続けます。そのため、水ぼうそうになったことのある人なら、ウイルスが体内に潜み続けているため、帯状疱疹になる可能性があります。

過労やストレスなどで免疫が低下すると、潜んでいた「水痘・帯状疱疹ウイルス」が再び活性化して、帯状疱疹を引き起こします。

帯状疱疹の症状は、身体の左右どちらか一方にびりびりとした痛みと、これに続いて出現する赤い斑点と小さな水ぶくれです。

発症すると、皮膚の症状だけではなく、神経にも炎症を引き起こして強い痛みが現れます。神経の損傷がひどい場合は皮膚の症状が治った後も、痛みが続くことがあります。これを“帯状疱疹後神経痛”と言い、痛みが1年以上にわたって続くこともまれではありません。

水ぼうそうにかかったことがある人は、すでに一度免疫を獲得していますが、年齢とともに獲得した免疫が弱まってしまうため、改めてワクチン接種をおこない免疫を強化することで、帯状疱疹のリスクを軽減することができます。

帯状疱疹の予防接種はどんな人に勧められますか？

これまでに水痘(水ぼうそう)にかかったことがある人で、50歳以上の方に帯状疱疹の予防としておすすめします。

これまでに帯状疱疹になったことがありますか？50歳以上であれば予防接種を受けられますか？

帯状疱疹の既往がある方も発症してから6か月以上経てば接種できます。一度、帯状疱疹になったことがあっても、免疫が低下すると再び発症することがあるので予防が大切です。

インフルエンザワクチンと同日に接種できますか？

できます。

予約必須でしょうか？

帯状疱疹ワクチン接種のための予約は不要です。下表をご覧くださいの上、ご都合の良い時に予約なしで、担当部署の受付にお越しください。

製造	GSK 社
ワクチンの種類	不活化ワクチン (病原性を無くしたウイルスから作ったもの)
接種回数	2回(2~6か月後に2回目)
発症予防効果	90%以上 帯状疱疹発症 97.2% 減少 帯状疱疹後神経痛 88.8% 減少
効果の持続	9年以上
副反応	接種部位の痛み、腫れ、筋肉痛、倦怠感、頭痛など
その他	免疫機能が低下していても接種可
費用 (ワクチン費、医師の診察費、 病院使用料を含む)	13,800 パーツ/2回* (通常 16,000 パーツ/2回) 1回目の接種時に2回分の料金をお預かりします。
受付・接種場所	健康診断センター(日本人医療センタービル2階): 8:00-14:00
時間	
曜日	
予約	1本目はすぐに接種できる医師をご案内します。2本目は接種のみで、医師による診察は原則ありません。

*この割引は2024年12月31日まで有効